

市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	883.50	2023/10/16
High	909.53	2023/10/18
Low	876.83	2023/10/16
Close	899.50	2023/10/20

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4245.00	2023/10/16
High	4378.00	2023/10/18
Low	4215.00	2023/10/16
Close	4333.00	2023/10/20

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1145.95	2023/10/16
High	1156.38	2023/10/16
Low	1095.70	2023/10/19
Close	1097.88	2023/10/20

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5527.00	2023/10/16
High	5574.00	2023/10/16
Low	5297.00	2023/10/19
Close	5303.00	2023/10/20

ニュースエクスプレス

ガゼル、アングロ・アメリカン、プラチナム、BMW、南アフリカ国内の燃料電池自動車で協力

アングロ・アメリカン・プラチナム、BMW グループ南アフリカ(BMRF SA)、サールは南アフリカ国内で水素を燃料としたモビリティの試みを共同で進める。

3社は10月16日、ケープタウンで行われている「2023 南アフリカグリーン水素サミット」にて、燃料電池自動車と水素燃料の普及プロジェクトを国内で進めることに合意した。

記事の内容としては、BMW が来年稼働される予定のBMW iX5 燃料電池自動車を、サールがグリーン水素と水素燃料供給を供給する。

両社から作られたグリーン水素は、サールの工場から水素燃料供給を経て、ハウテンにあるBMWの工場に運ばれ、燃料電池自動車に供給される。アングロ・アメリカン・プラチナムのCEO、Craig Miller氏によると、両社が提供する PGMが燃料電池自動車の燃料電池システムに使われており、両社は、以前にPGMの需要を高める努力の一環として、このプロジェクトの資金を提供する。

両氏は、燃料電池自動車が世界の新車市場の1割、10万台でもなるようになれば、PGMの需要は年間15.5 トン増えるとしている。

<https://www.engineeringtimes.com/articles/total-anglo-american-platinum-and-bmw-ib-dial-to-fuel-hydrogen-cars-in-sa-2023-10-16>

ブラックロック、エネルギー転換に貢献する金属の生産会社のETFを発表

ブラックロックは、再生可能エネルギーの転換を促す一環として、鉱山と金属生産をテーマとしたETFを発表した。

iShares Essential Metals UCITS ETF (METL) は、ドイツ証券取引所とニューヨークに上場され、総資産額(TER) は0.5%。

METL は、S&P Global Commodity Insights (GCI) がエネルギー転換技術に不可欠とするアルミナ、アルミニウム、ポークサイト、コバルト、銅、リチウム、マンガン、モリブデン、ニッケル、パラジウム、プラチナ、シムバベレアース、鉛を生産する鉱山会社からなるS&P Global Essential Metals Producers Index に連動する。

ブラックロックは、低炭素経済、サプライチェーンを巡る問題、国際関係の緊張などからこのセクターに関心が高まっているとしている。

同社のglobal head of sustainable investing であるManuela Sprengel氏は、「鉱山の採掘は製造業に供給するために不可欠な投資先であるだけでなく、将来の戻りも明確に計算している。」

「銅、リチウム、ニッケルなど再生エネルギーに欠かせなく、低炭素経済への移行を支える鉱物に対する構造的な需要が増えている。」

「様々な考え方としては、脱炭素化に役立つという点で再生可能エネルギーに投資することは、低炭素経済への転換の中で最も有利な投資先となるでしょう。」

METL の登場は、ETF Stream に6月に発表された iShares Copper Miners UCITS ETF (COPM) に続く、ブラックロックのエネルギー転換関連の鉱山会社への投資商品となる。

<https://www.iftinvest.com/articles/blackrock-launches-energy-transition-essential-miners-etf>

Translated by Kazuki OSAKI

WPIC直近の活動

プラチナは今年から供給不足が始まり2027年までその状態が続く予測だが、今後数年間プラチナが不足していても、自動車分野でパラジウムに代わりプラチナを駆逐する需要は少ないだろう。水素経済が急速に発展局面を迎える中で、プラチナは地上在庫が引き出されて市場はタイトになる。そこで本稿では向こう5年間のパラジウムの展望、そして多金属鉱石の採掘という柔軟性に欠ける鉱山供給の仕組みが引き起こす市場の不均衡に対し、PGMの需要がどの反応するかという点を考察していきたいと思う。

パラジウムの代替としてのプラチナの需要は両者の価格差が狭まるまで続くが、プラチナ不足が続いてパラジウムが余ればこの流れは逆行し、2026年以後に於て急速に発展する水素経済のためにプラチナを利用することが可能になるだろう。つまりプラチナの供給不足はエネルギー転換を支える技術開発の妨げにはならないのだ。

詳しくは**プラチナ投資のエッセンス 2023年9月号**をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research>

